



## 既存住宅の1室を耐震シェルターに

### 住みながら工事が可能

デリス建築研究所（神奈川県横浜市、青木俊実社長）は、既存の木造戸建て住宅を部分的に補強する耐震シェルター工法「シェルキューブ」を、横浜国立大学大学院と共同開発、このほど販売を開始した。

デリス建築研究所の内部は安全な居住空間を保つことができるという。

こうした1室シェルター化などの部分補強に対して補助を行う自治体も増えており、少しずつ需要が高まっている。

「シェルキューブ」は、既存住宅の1部屋に短工期で耐震シェルターを設置するもの。性能試験では、100t以上の垂直荷重性能が確認されたとし、建物が倒壊した場合でも

本体製造、品質管理、施工監修はJFE建材が、販売流通はメタルワン建材が担う。住みながらの工事が可能といい、工事費用は6畳で税別350万円。

デリス建築研究所と横国大が共同開発